

小中学校の 学力向上を問う

答 授業改善の積み重ねが功を奏した



金城 好春 議員

問 本町の小中学校の学力テスト結果は、県平均と比べてどうか。さらに全国平均と比べてどうなっているか。

教育長 小学校、中学校共に国語A・B、算数(数学)A・Bで県平均を上回っている。小学校は国語A、算数A・Bが全国平均を超えている。特に、算数Aでは全国平均正答率78.1%に対し、本町の平均正答率は82.5%と高得点である。中学校は全国平均には及ばないが、昨年より全国との差を半分近く縮めた。

問 本町は電子黒板を各学級に配置した。児童生徒の学習意欲や学習態度に変化はあるか。先生方の電子黒板に対する評価はどうか。

教育長 児童生徒から授業の内容が分かりやすいと意見がある。学習意欲の向上につながっている。教師からは視覚的な効果で児童生徒の視点を

集めることできると声がある。興味関心を持たせ、授業内容への理解を深めることに役立っていると評価を得ている。

問 今回、学力が向上した要因を何と考えるか。

教育指導主事 学力向上対策から学力推進に変え、教師も授業改善に取り組んでいる。朝の自習時間や昼休み時間、放課後に下位の子どもの補習授業を個別に行っている。このような積み重ねが功を奏したと考える。

町道に「カンナの花通り」の愛称を

問 本部公園前の町道6号線と町道29号線を「カンナの花通り」と名付けることはできないか。そのうえで看板の設置ができないか。

副町長 他の町道にもカンナの花の普及を図っている。そのため、指定された町道のみカンナの花通りの愛称を付けることが妥当か検討が必要となる。愛称が決まれば立て看板の設置も可能と考える。



本部公園前はカンナの花で溢れている

こんな質問もしました

・南風原南ICにおける交差点の安全対策を